

上帳」によると家数18戸・人数120人。平成22年(2010)人口138人・耕作可能田畑11ha。地域の構成は江戸時代から大きな違いはない。

満面塚古墳の東側は、機織部につながる機織の神様を祭る初西神社がある。古より地元の神様として信仰の中心であり、今も11月の初西の日直前の土曜日に例祭が執り行われている。当日はそば・赤飯・甘酒などが供えられ、参拝者には甘酒がふるまわれる。半世紀前までは百日咳の治癒を神様に祈願し、願主は奉納された旗の布裂を首に巻いて百日咳を追い払ったそう。現在、神社の北側は竹が繁茂しているが筑波山の遥拝の場であったことも容易に認識できる。

などらかな斜面、小高い丘に囲まれた漆所。訪れると安らかな気持ちになる。長い時の流れが静かにうち過ぎた場所だからでしょうか。

石井博子(神郡地区)

聞き書き「漆所の祭り」

漆所の初西神社など古くからの風習について漆所の長老、荒木勝弥さんと三田部三郎さんにお話をうかがいました。ここにはその一部をまとめて掲載いたします。() 内は編集部による補足。



長老お二人に貴重なお話をうかがいました

◎風神祭り

―漆所の祭りについて教えてください。

三田部 「風神祭り」があったな。荒木 立春から210日目の二百十日に暴風雨がこないように、9月1日の1週間くらい前、8月25日頃やるんだ。オコウヤ(お講屋、現・集会所)から、さんぎり太鼓を鳴らしながら初西神社に行く。これは青年団がやった。寄付を集めて、子どもらに梨なんか買ってやって配る。昔はチョコレートなんてないから。―お祭りはいつ頃まで?

三田部 昭和35年くらいまでやってたかな。

荒木 戦争から帰ってきた若い衆と戦後もしばらくやってたな。ただ養蚕もダメになったし百姓だけではやっていけない。「出稼ぎ(勤め)」に

出るようになって自然消滅した。

◎雨乞い祭り

―風神祭り以外にはどんな祭りが?

三田部 雨乞いのお祭りがあったな。荒木 漆所はため池が3つ(古文書には4つ)あったが、筑波山から遠く、水がじゅうぶんでなかった。雨が降らないと神郡末水に頼るしかない。つまり神郡からのもらい水だ。漆所は水の順番が最後だから、もらえないこともあるんだ。だから、雨乞いの祭りをした。

―雨乞いはよくしたんですか?

荒木 よほど困ったときで、1回だけだな、子どもの頃に経験がある。―具体的には?

三田部 太鼓の音が天に届くまで、たたくんだよな。降るまでやる。荒木 音をきらしちゃいけない、というので、順番に雨が降るまでたたく。飲んでないとやってられないから、酒飲みながら。まあ気休めだ(笑)。ため池以外に、井戸を掘ることがあった。井戸は木の枠を付けて掘ったが、一日もすると干上がってしまう。昭和30年代には風車が流行って、この辺りでも風車で汲み上げた。材料はハンノキで作った。

◎初西神社の祭礼と旗奉納

―初西神社については?

●田井小と漆所古墳群

田井小の校長室前の展示コーナーには本物の埴輪がある。これは満面塚古墳を壊した時に、地域の学校ということで寄付されたものであるらしい。漆所には満面塚古墳のほかに大塚古墳、隣接の杉の木には土塔山古墳がある。田井小では平成17年度に、中村泰先生の指導のもとに、詳細な取材を行い、現在も研究成果がホームページに残されている。これは総合学習の一環として、「田井タウンマップをつくろう」というホームページコンテストに応募するためで、結果として「産経新聞社賞」を受賞しています。子供たちは、身近にたくさん古墳があることを知ってびっくりし、田井小にあるものが、本物であることに、さらにびっくりしました。

なお、この取材では漆所の荒木さんにお話をうかがったそうです。

榎田智司(六所地区)



埴輪イラスト：肥田栄輔(田井小学校5年)

インフォメーション

●夏祭り

神郡祇園祭り 7月18日(日)／山車、神輿がにぎやかに町内を練り歩きます。白井八坂神社の御神火 7月17日(土)はおかがり(20時点火)、7月18日(日)子どもみこし(9時)、大人みこし(15時) 杉ノ木稻荷万灯 8月22日(日)17時頃から子どもたちが描いた約30基の万灯で神社までの参道を飾ります。

●平沢万灯

8月21日(土)18時～21時／雨天時22日(日)遺跡の復元建物をライトアップ、八幡神社までの道を万灯で飾り幻想的な光の世界を演出します。かき氷のプレゼントあり 〔問〕平沢官衙遺跡案内所 029-86715841

●田楽の集い 稲刈り

9月26日(日)10時～15時／雨天中止／参加費大人1000円、学生・障害者・小人500円(昼食付)／筑波山の麓の谷津田で無農薬の米づくり。黒米や赤米を手刈り、あぜで創作「田楽舞い」もあります。

〔問〕NPO法人自然生クラブ 029-86612197

●「すそめの田んぼ 棚田の稲刈り

9月20日(月)・祝10時～15時／参加費900円(昼食付)／生き物のために、沢水だけで無農薬の米づくりをしています。／支援金募集中(収穫量に応じお米の配分あり。詳しくはお問合せを)

〔問〕NPO法人つくば環境フォーラム 029-86315151

●「わた部発足」

神郡、館、学園の有志が集まり、館の畑をお借りして、綿の栽培を始めました。秋祭りに向けて綿摘み&小物づくりワークショップを企画中です。

〔問〕里山建築研究所 029-86711086

桜の木に囲まれた初西神社

